

豪雨災害 日本共産党の立党の精神發揮し 被災者支援を最優先に

中国ブロック交流ニュース

発行／日本共産党国会議員団中国ブロック事務所

〒703-8288 岡山市中区赤坂本町 1-31 2018/7/14 NO. 4

TEL086-273-7747 FAX086-272-7108 Email jcp-chu@mx36.tiki.ne.jp

12日の国会調査団 翌日にさっそく第1次政府交渉

岡山・広島の草の根の被災者支援で聞いた声も反映し



豪雨災害発生から一週間、日本共産党は各地で被災者支援の草の根の活動に全力で取り組んでいます。

その被災者の生の声を集めるとともに、12日の小池晃書記局長ら国会調査団の調査で得た被災者の声をまとめて、13日、岡山県委員会と広島県委員会が仁比聡平参議院議員、大平喜信前衆議院議員とともに、第1次政

府交渉を行いました。(写真) その交渉で勝ち取った主なものを紹介します。

<民地内の土砂の撤去について>

内閣府の担当者は、災害救助法に基づき「障害物の除去」が国庫補助でできると回答。一方、国が除去対象は「被害認定で半壊、床上浸水」に限るとの説明を岡山県にしていたとして、要請団が「(土砂流入が集合住宅の一带に及んでいるのに) 対象かどうかで、ここはやるけど、ここはやらないというのがあるのか」と追及すると、内閣府側は「あり得ない」とのべました。

<避難所の改善について>

仁比氏が広島市安芸区の避難所を調査に訪れた際、スポットクーラーが設置されていたものの、室内温度が32度だったことを紹介。「熊本地震の時のように大型のエアコンを設置するべきだ」と迫ると、内閣府側は「設置した経産省に実態を伝える」と応じました。

<被災者の医療費窓口負担などの免除について>

厚生労働省側は、自治体の意向を確認した上で実現に向け進めていると説明しました。医療費の窓口負担は国保も協会けんぽも免除されることになりました。

<上記以外>

▽「断水の日も早い解消、給水の充実」▽速やかな激甚災害指定で、自治体財政へ▽農地復旧支援や被災中小企業への直接支援一など求めました。

要請には、高見あつみ参院広島選挙区予定候補、すみより聡美同岡山選挙区予定候補、辻恒雄広島県議、村上厚子、中石仁両広島市議、河田正一岡山市議、末田正彦倉敷市議が参加しました。